

2009年 9 月27日 実施

平成21年度（第41回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈プログラミング部門〉
第 2 級 試 験 問 題

..... 注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】 【2】 【3】 【4】 は共通問題です。
5. 【5】 【6】 【7】 の問題は，COBOL・イベント駆動型 BASICの
どちらか 1 つを選択し，解答用紙の選択言語を ☐ で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

- 解答群

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

B群

- 【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

- ア. CMYK イ. RGB ウ. ピクセル

【4】 次の各問いに答えなさい。

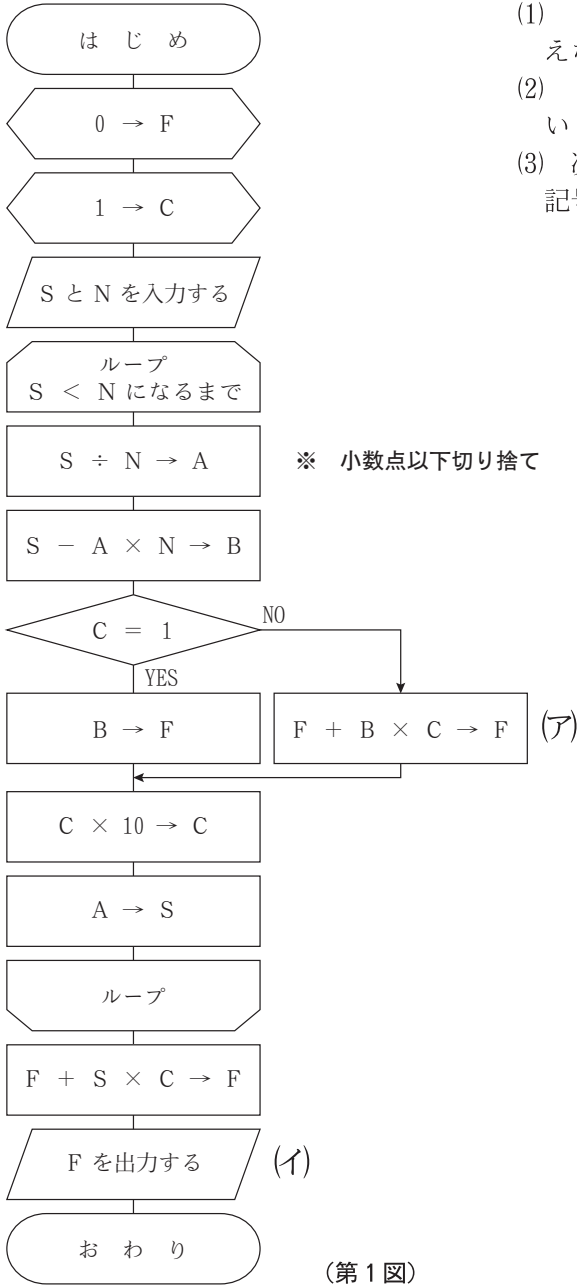
- 問1. 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。
- (1) データが意図した順に並んでいるかを確認する検査。
 - (2) 言語プロセッサによって機械語に翻訳されたプログラム。
 - (3) Mの値が3のとき、次の命令を実行したあとのKの値。

＜COBOL選択者＞	＜イベント駆動型BASIC選択者＞
COMPUTE K = M * (7 - M) ** 2 / 6	K = M * (7 - M) ^ 2 / 6

解答群

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| ア. 目的プログラム | イ. 4 | ウ. 8 |
| エ. シーケンスチェック | オ. 原始プログラム | カ. リミットチェック |

問2. 第1図の流れ図にしたがって処理するとき、次の(1)～(3)に答えなさい。なお、入力するNの値は2以上9以下の正の整数とする。



(第1図)

- (1) Sの値が21, Nの値が2のとき、(ア)は何回実行されるか答えなさい。
- (2) Sの値が34, Nの値が3のとき、(イ)で出力されるFの値はいくつか答えなさい。
- (3) 次の説明文のうち正しいものはどれか、ア～ウから選び、記号で答えなさい。
 - ア. Nの値はBの値を超えることはない。
 - イ. Bの値はNの値を超えることはない。
 - ウ. Bの値は必ず1か0のどちらかになる。

【5】 第1図のようなある電器店の8月の家電リサイクル品受入ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

(ファイル名: RECYCLE-F, レコード名: RECYCLE-R)

リサイクル品名 (HIN)	製造年 (NEN)	区分 (KUBUN)	収集方法 (SYU)
×～×	××××	×	×

(第1図)

処理条件

- 第1図のファイルを読み、第2図のようにリサイクル品名から回収料金までを印字する。
- 第3図の区分にしたがって、リサイクル料を求める。

区分	リサイクル料
A (エアコン)	2,625円
T (テレビ)	1,785円
R (冷蔵庫)	3,780円

(第3図)

- 第4図の収集方法にしたがって、収集運搬手数料を求める。

収集方法	収集運搬手数料
1 (店内持込)	525円
2 (訪問収集)	2,550円

(第4図)

- 回収料金は、リサイクル料と収集運搬手数料の合計である。
- ファイルを読み終えたあと、回収料金合計、および製造年が最も古いリサイクル品名と製造年を印字して処理を終了する。なお、製造年は西暦4けたであり、同じ製造年の場合は、先に入力されたものを印字する。
- 入力データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. TOTAL
イ. NEN > MIN
ウ. KUBUN = "R"
エ. NEN < MIN
オ. KUBUN = "T"
カ. KEI
キ. NEN
ク. COMPUTE KEI = RKIN + SKIN
ケ. HOZON
コ. COMPUTE KEI = KEI + RKIN

WORKING-STORAGE SECTION.

```

01 FLG      PIC 9(01).
01 TOTAL    PIC 9(06).
01 MIN      PIC 9(04).
01 RKIN     PIC 9(04).
01 SKIN     PIC 9(04).
01 KEI      PIC 9(04).
01 HOZON    PIC X(16).
01 MEISAI-GYO.
   02 HIN-M  PIC X(16).
   }
01 GOKEI-GYO.
   02      PIC X(60) VALUE SPACE.
   02 KIN-G  PIC ZZZ, ZZ9.
01 S-OLD-GYO.
   02      PIC X(04) VALUE SPACE.
   02 HIN-S  PIC X(16).
   02      PIC X(08) VALUE SPACE.
   02 NEN-S  PIC 9(04).
```

出力形式

(ファイル名: ITIRAN-F, レコード名: ITIRAN-R)

(家電リサイクル品受入一覧表)				
(リサイクル品名)	(製造年)	(リサイクル料)	(収集運搬手数料)	(回収料金)
A社製テレビ14型	1991	1,785	525	2,310
B社製冷蔵庫	1998	3,780	2,550	6,330
}	}	}	}	}
A社製エアコン	2000	2,625	2,550	5,175
(回収料金合計)				136,425
(最も古いリサイクル品名と製造年)				
C社製テレビ14型	1989			

(第2図)

PROCEDURE DIVISION.

P1. OPEN INPUT RECYCLE-F OUTPUT ITIRAN-F

MOVE ZERO TO FLG (1)

MOVE 9999 TO MIN

PERFORM UNTIL FLG = 1

READ RECYCLE-F

AT END

MOVE 1 TO FLG

NOT AT END

IF KUBUN = "A"

THEN MOVE 2625 TO RKIN

ELSE IF (2)

THEN MOVE 1785 TO RKIN

ELSE MOVE 3780 TO RKIN

END-IF

END-IF

IF SYU = 1

THEN MOVE 525 TO SKIN

ELSE MOVE 2550 TO SKIN

END-IF

(3)

COMPUTE TOTAL = TOTAL + KEI

MOVE HIN TO HIN-M

MOVE NEN TO NEN-M

MOVE RKIN TO RKIN-M

MOVE SKIN TO SKIN-M

MOVE KEI TO KEI-M

WRITE ITIRAN-R FROM MEISAI-GYO AFTER 1

IF (4)

THEN MOVE NEN TO MIN

MOVE HIN TO HOZON

END-IF

END-READ

END-PERFORM

MOVE TOTAL TO KIN-G

WRITE ITIRAN-R FROM GOKEI-GYO AFTER 1

MOVE (5) TO HIN-S

MOVE MIN TO NEN-S

WRITE ITIRAN-R FROM S-OLD-GYO AFTER 2

CLOSE RECYCLE-F ITIRAN-F

STOP RUN.

- 【6】 第1図のようなあるスポーツクラブの先月分の会員利用ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。第5図の流れ図(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

会員カード番号 (KBAN)	利用日 (HI)	利用料金 (KIN)
×××××	××	××××

(第1図)

処理条件

- (1) 第3図のテーブルBAN-Tには会員カード番号が、テーブルNAM-Tには会員名がそれぞれ記憶されている。なお、会員は2,000名である。

テーブル BAN-T

BAN	K0002	K0004	K0005	～	K2137
	(1)	(2)	(3)	～	(2000)

テーブル NAM-T

NAM	鈴木○○	川野△△	山田◇◇	～	高橋□□
	(1)	(2)	(3)	～	(2000)

(第3図)

- (2) 第1図のファイルを読み、会員カード番号をもとに、第3図のテーブルBAN-Tを探索し、第4図のテーブルPNT-Tにポイントを集計する。なお、第3図と第4図の各テーブルは添字で対応している。

また、ポイントは、利用料金の50円ごとに1ポイントにつき、次の計算式により求める。

ポイント = 利用料金 ÷ 50 (小数点以下切り捨て)

テーブル PNT-T

PNT				～	
	(1)	(2)	(3)	～	(2000)

(第4図)

- (3) ファイルを読み終えたあと、第2図のように、ポイント合計が300以上の会員のみ印字する。最後に、ポイント合計が300以上の会員の人数とポイント合計が0の会員の人数を印字して処理を終了する。
- (4) 入力データにエラーはないものとする。

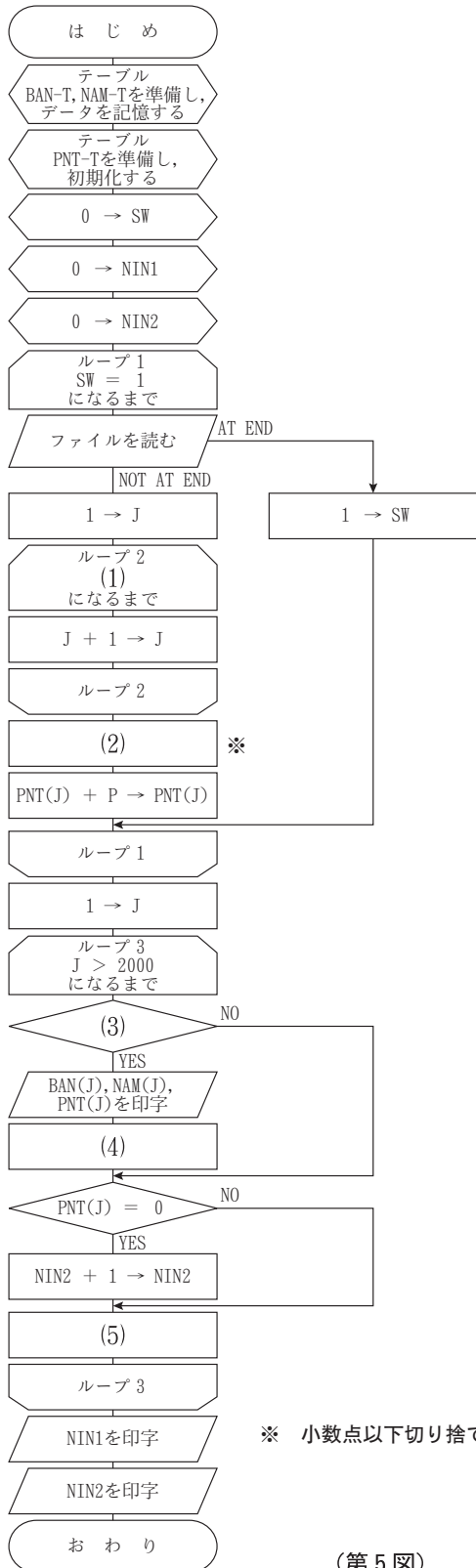
解答群

- ア. BAN(P) = KBAN
 イ. PNT(J) ≥ 300
 ウ. NIN1 + 1 → NIN1
 エ. P + 1 → P
 オ. KIN ÷ 50 → PNT(J)
 カ. BAN(J) = KBAN
 キ. J + 1 → J
 ク. P ≥ 300
 ケ. PNT(J) + 1 → PNT(J)
 コ. KIN ÷ 50 → P

出力形式

(300ポイント以上獲得会員一覧表)		
(会員カード番号)	(会員名)	(ポイント合計)
K0004	川野△△	350
K0006	佐藤○○	326
}	}	}
K2137	高橋□□	401
(ポイント合計が300以上の会員の人数)		587
(ポイント合計が0の会員の人数)		143

(第2図)



※ 小数点以下切り捨て

(第5図)

- 【7】 第1図のようなある有料道路の2週間分の普通車通行データを記録したファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字するプログラムの空欄をうめなさい。

入力形式

(ファイル名：TUKO-F, レコード名：TUKO-R)

入口コード (IRI)	出口コード (DEG)	曜日コード (YOBI)
×	×	×

(第1図)

処理条件

- (1) 入口コードおよび出口コードは、1～5までの5種類である。入口コード(出口コード)を添字として、第3図のテーブル MEI-TBL に料金所名が記憶されている。また、曜日コードは1(日曜日)～7(土曜日)である。

テーブル MEI-TBL

T-MEI	西東京	小田原	富士山	新浜松	尾張南
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(第3図)

- (2) 有料道路の各区間料金は、第4図のとおりであり、第5図のテーブル RYOKIN-TBL に区間料金が記憶されている。

区 間	区間料金
西東京↔小田原	1,250円
小田原↔富士山	1,400円
富士山↔新浜松	1,150円
新浜松↔尾張南	1,200円

(第4図)

テーブル RYOKIN-TBL

T-RYOKIN	1250	1400	1150	1200
	(1)	(2)	(3)	(4)

(第5図)

- (3) 第1図のファイルを読み、次の処理を行う。
- ① 通行料金は、入口コード(出口コード)から出口コード(入口コード)までの区間料金を集計したものである。なお、曜日が土曜日または日曜日の場合には、区間にかかわらず通行料金は一律800円とする。
 - ② 本来の通行料金との差額を計算し、第2図のように、入口から差額までを印字する。ただし、一律800円料金とならなかった場合の差額は0円である。
- (4) ファイルを読み終えたあと、第2図のように一律800円料金となった台数を印字して処理を終了する。
- (5) 入力データにエラーはないものとする。

WORKING-STORAGE SECTION.

```

01 E-FLG          PIC X(01).
01 DAISU          PIC 9(05).
01 HAJIME         PIC 9(01).
01 OWARI          PIC 9(01).
01 RYOKIN         PIC 9(04).
01 H              PIC 9(01).
01 SAGAKU         PIC 9(04).
    }
01 MEISAI-L.
    02             PIC X(01) VALUE SPACE.
    02 M-IRI       PIC X(06).
    02             PIC X(06) VALUE SPACE.
    02 M-DEG       PIC X(06).
    02             PIC X(12) VALUE SPACE.
    02 M-RYOKIN    PIC Z,ZZ9.
    02             PIC X(05) VALUE SPACE.
    02 M-SAGAKU    PIC Z,ZZ9.
01 SD-L.
    02             PIC X(28) VALUE SPACE.
    02 S-DAISU     PIC ZZ,ZZ9.
    
```

出力形式

(ファイル名：INJI-F, レコード名：INJI-R)

(有料道路料金一覧表)			
(入口)	(出口)	(通行料金)	(差額)
西東京	富士山	2,650	0
小田原	西東京	800	450
}	}	}	}
尾張南	小田原	800	2,950
小田原	新浜松	2,550	0
(一律800円料金となった台数) 2,632			

(第2図)

PROCEDURE DIVISION.

P1. OPEN INPUT TUKO-F OUTPUT INJI-F

INITIALIZE E-FLG (ア)

PERFORM UNTIL E-FLG = "E"

READ TUKO-F

AT END

MOVE "E" TO E-FLG

NOT AT END

IF IRI < DEG

THEN

(イ)

COMPUTE OWARI = DEG - 1

ELSE

MOVE DEG TO HAJIME

COMPUTE OWARI = IRI - 1

END-IF

MOVE 0 TO RYOKIN

PERFORM VARYING H FROM HAJIME BY 1 UNTIL (ウ)

COMPUTE RYOKIN = RYOKIN + T-RYOKIN(H)

END-PERFORM

IF YOBI = 1 OR (エ)

THEN

COMPUTE SAGAKU = RYOKIN - 800

MOVE 800 TO RYOKIN

COMPUTE DAISU = DAISU + 1

ELSE

MOVE 0 TO (オ)

END-IF

MOVE T-MEI(IRI) TO M-IRI

MOVE T-MEI(DEG) TO M-DEG

MOVE RYOKIN TO M-RYOKIN

MOVE SAGAKU TO M-SAGAKU

WRITE INJI-R FROM MEISAI-L AFTER 1

END-READ

END-PERFORM

MOVE DAISU TO S-DAISU

WRITE INJI-R FROM SD-L AFTER 1

CLOSE TUKO-F INJI-F

STOP RUN.

- 【5】 ある電器店の家電リサイクル品受入データを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

フォーム

入力欄			
リサイクル品名	製造年	区分	収集方法
Text1	Text2	Text3	Text4
Command1			
Command2			
Command3			
リサイクル料	Label1		
収集運搬手数料	Label2	回収料金	Label3
回収料金合計		最も古いリサイクル品名と製造年	
Label4		Label5	Label6

(第1図)

処理条件

- (1) 第2図のリサイクル品名、製造年、区分、収集方法にデータを入力し、「処理」ボタンをクリックすると次の処理を行う。

- ① 第3図の区分にしたがって、リサイクル料を求めてLabel1に表示する。

区分	リサイクル料
A (エアコン)	2,625円
T (テレビ)	1,785円
R (冷蔵庫)	3,780円

(第3図)

- ② 第4図の収集方法にしたがって、収集運搬手数料を求めてLabel2に表示する。

収集方法	収集運搬手数料
1 (店内持込)	525円
2 (訪問収集)	2,550円

(第4図)

- ③ リサイクル料と収集運搬手数料の合計を回収料金としてLabel3に表示する。
- ④ データ入力時点までの回収料金合計をLabel4に、製造年が最も古いリサイクル品名と製造年をLabel5とLabel6に表示する。なお、製造年は西暦4けたであり、同じ製造年の場合は、先に入力されたものを表示する。
- (2) 表示に関する設定は、第2図の実行形式のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

解答群

- ア. Total
イ. Nen > Min
ウ. Kubun = "R"
エ. Nen < Min
オ. Kubun = "T"
カ. Kei
キ. Nen
ク. Kei = Rkin + Skin
ケ. Hin
コ. Kei = Kei + Rkin

実行形式

入力欄			
リサイクル品名	製造年	区分	収集方法
B社製エアコン	1997	A	2
処理			
クリア			
終了			
リサイクル料	2,625		
収集運搬手数料	2,550	回収料金	5,175
回収料金合計		最も古いリサイクル品名と製造年	
69,075		A社製テレビ14型	1991

(第2図)

```
Option Explicit
Dim Total As Long
Dim Min As Integer
```

```
Private Sub Form_Load()
    Call Syokyo
    Label4.Caption = "": Label5.Caption = ""
    Label6.Caption = ""
    (1) = 0
    Min = 9999
End Sub
```

```
Private Sub Command1_Click() (処理)
    Dim Hin, Kubun As String
    Dim Nen, Syu, Rkin, Skin, Kei As Integer
    Hin = Text1.Text
    Nen = Val(Text2.Text)
    Kubun = Text3.Text
    Syu = Val(Text4.Text)
    If Kubun = "A" Then
        Rkin = 2625
    Else
        If (2) Then
            Rkin = 1785
        Else
            Rkin = 3780
        End If
    End If
    If Syu = 1 Then
        Skin = 525
    Else
        Skin = 2550
    End If
    (3)
    Total = Total + Kei
    Label1.Caption = Format(Rkin, "#,##0")
    Label2.Caption = Format(Skin, "#,##0")
    Label3.Caption = Format(Kei, "#,##0")
    Label4.Caption = Format(Total, "###,##0")
    If (4) Then
        Min = Nen
        Label5.Caption = (5)
        Label6.Caption = Format(Min, "0000")
    End If
End Sub
```

```
Private Sub Command2_Click() (クリア)
    Call Syokyo
End Sub
```

```
Private Sub Command3_Click() (終了)
    End
End Sub
```

```
Private Sub Syokyo() (消去)
    Text1.Text = "": Text2.Text = ""
    Text3.Text = "": Text4.Text = ""
    Label1.Caption = "": Label2.Caption = ""
    Label3.Caption = ""
End Sub
```


- 【6】 第1図のようなあるスポーツクラブの先月分の会員利用データを読み、処理条件にしたがって第2図のように表示する。第5図の流れ図(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

会員カード番号 (Kban)	利用日 (Hi)	利用料金 (Kin)
×××××	××	××××

(第1図)

処理条件

- (1) フォームロード時に、配列 Ban に会員カード番号を、配列 Nam に会員名を記憶する。なお、会員は2,000名である。

配列

Ban	K0002	K0004	K0005	～	K2137
	(1)	(2)	(3)	～	(2000)
Nam	鈴木○○	川野△△	山田◇◇	～	高橋□□
	(1)	(2)	(3)	～	(2000)

(第3図)

- (2) 第2図の「処理」ボタンをクリックすると、第1図のデータを読み、会員カード番号をもとに、第3図の配列 Ban を探索し、第4図の配列 Pnt にポイントを集計する。なお、第3図と第4図の各配列は添字で対応している。

また、ポイントは利用料金の50円ごとに1ポイントがつき、次の計算式により求める。

$$\text{ポイント} = \text{利用料金} \div 50$$

(小数点以下切り捨て)

配列

Pnt				～	
	(1)	(2)	(3)	～	(2000)

(第4図)

- (3) データを読み終えたあと、第2図のように、ポイント合計が300以上の会員のみ Label1 に表示する。最後にポイント合計が300以上の会員の人数とポイント合計が0の会員の人数を表示して処理を終了する。
- (4) 表示に関する設定は、第2図のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

解答群

- ア. Ban(p) = Kban
 イ. Pnt(j) ≥ 300
 ウ. Nin1 + 1 → Nin1
 エ. p + 1 → p
 オ. Kin ÷ 50 → Pnt(j)
 カ. Ban(j) = Kban
 キ. j + 1 → j
 ク. p ≥ 300
 ケ. Pnt(j) + 1 → Pnt(j)
 コ. Kin ÷ 50 → p

実行形式

300ポイント以上獲得会員一覧表

会員カード番号	会員名	ポイント合計
K0004	川野△△	350
K0006	佐藤○○	326
}	}	}
K2137	高橋□□	401

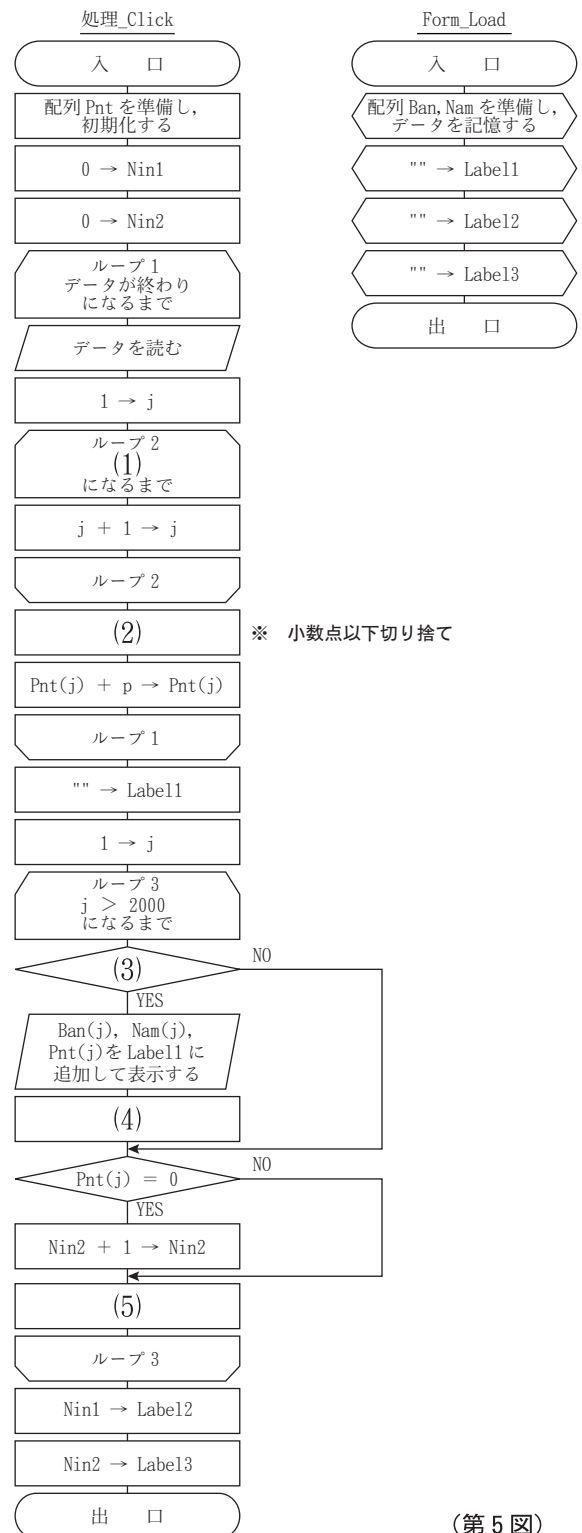
(Label1)

ポイント合計が300以上の会員の人数 (Label2)

ポイント合計が0の会員の人数 (Label3)

処理 終了

(第2図)



(第5図)

- 【7】 ある有料道路の2週間分の普通車通行データを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示するプログラムの空欄をうめなさい。

フォーム

通行データを入力してください				Command1
入口コード Text1	出口コード Text2	曜日コード Text3		Command2
有料道路 通行料金計算				
入口料金所 Label1	出口料金所 Label2	通行料金 Label3	差額 Label4	
現在までの一律800円料金となった台数 Label5				Command3

(第1図)

処理条件

- (1) 入口コードおよび出口コードは、1～5までの5種類である。フォームロード時に、入口コード（出口コード）を添字として第3図の配列 Mei に料金所名を記憶する。また、曜日コードは1（日曜日）～7（土曜日）である。

配列

Mei	西東京	小田原	富士山	新浜松	尾張南
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(第3図)

- (2) 有料道路の各区間料金は、第4図のとおりであり、フォームロード時に、第5図の配列 Ryokin に区間料金を記憶する。

区 間	区間料金
西東京↔小田原	1,250円
小田原↔富士山	1,400円
富士山↔新浜松	1,150円
新浜松↔尾張南	1,200円

(第4図)

配列

Ryokin	1250	1400	1150	1200
	(1)	(2)	(3)	(4)

(第5図)

- (3) 第2図のように、入口コード、出口コード、曜日コードを入力し、「計算」ボタンをクリックすると次の処理を実行する。

- ① 入口コード（出口コード）を添字として、入口料金所および出口料金所を Label1 と Label2 に表示する。
- ② 通行料金は、入口コード（出口コード）から出口コード（入口コード）までの区間料金を集計したものである。なお、曜日が土曜日または日曜日の場合には区間にかかわらず、通行料金は一律800円とし、Label3 に表示する。
- ③ 本来の通行料金との差額を計算し、Label4 に表示する。ただし、一律800円料金とならなかった場合の差額は0円である。
- ④ データ入力時点までの一律800円料金となった台数を Label5 に表示する。

- (4) 表示に関する設定は、第2図のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

実行形式

通行データを入力してください				計 算
入口コード 2	出口コード 4	曜日コード 7		ク リ ア
有料道路 通行料金計算				
入口料金所 小田原	出口料金所 新浜松	通行料金 800	差額 1,750	
現在までの一律800円料金となった台数 653				終 了

(第2図)

Option Explicit

```
Dim Mei(1 To 5) As String
Dim Ryokin(1 To 4) As Integer
Dim Daisu As Long
```

Private Sub Form_Load()

```
Mei(1) = "西東京": Mei(2) = "小田原"
    〆
    Ryokin(3) = 1150: Ryokin(4) = 1200
    Call Syokyo
    Label5.Caption = ""
    〆 = 0
End Sub
```

Private Sub Command1_Click()

(計算)

```
Dim Iri, Deg, Yobi, Hajime, Owari As Integer
Dim kin, h, Sagaku As Integer
Iri = Val(Text1.Text)
Deg = Val(Text2.Text)
Yobi = Val(Text3.Text)
If Iri < Deg Then
    〆
    Owari = Deg - 1
Else
    Hajime = Deg
    Owari = Iri - 1
End If
kin = 0
For h = Hajime To 〆
    kin = kin + Ryokin(h)
Next h
If Yobi = 1 Or 〆 Then
    Sagaku = kin - 800
    kin = 800
    Daisu = Daisu + 1
Else
    〆 = 0
End If
Label1.Caption = Mei(Iri)
Label2.Caption = Mei(Deg)
Label3.Caption = Format(kin, "#,###")
Label4.Caption = Format(Sagaku, "#,###")
Label5.Caption = Format(Daisu, "###,###")
End Sub
```

Private Sub Command2_Click()

(クリア)

```
Call Syokyo
End Sub
```

Private Sub Command3_Click()

(終了)

```
End
End Sub
```

Private Sub Syokyo()

(消去)

```
Text1.Text = "": Text2.Text = "": Text3.Text = ""
Label1.Caption = "": Label2.Caption = ""
Label3.Caption = "": Label4.Caption = ""
End Sub
```

(平成21年 9 月27日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第41回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

解 答 用 紙

1	2	3	4	5

1	2	3	4	5

1	2	3	4	5

問 1			問 2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
			回		

小 計

.....〔COBOL〕・〔イベント駆動型BASIC〕.....

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(ア)	
(イ)	
(ウ)	
(エ)	
(オ)	

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語	
		COBOL	イベント駆動型 BASIC

小 計

合 計

選択言語を ☐ で囲むこと

(平成21年 9 月27日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第41回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審 查 基 準

【1】

1	2	3	4	5
ケ	イ	ウ	キ	カ

各 2 点
計 10 点

【2】

1	2	3	4	5
オ	コ	ク	エ	ア

各2点
計10点

【3】

1	2	3	4	5
イ	ア	ウ	イ	ウ

各2点
計10点

【4】

問 1			問 2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
エ	ア	ウ	3 回	1021	イ

問1 各2点
問2 各3点
計15点

小計
45

[COBOL]

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ア	オ	ク	エ	ケ

各 3 点
計 15 点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
カ	コ	イ	ウ	キ

各4点
計20点

【7】

(ア)	D A I S U
(イ)	M O V E I R I T O H A J I M E
(ウ)	H > O W A R I
(エ)	Y O B I = 7
(オ)	S A G A K U

各 4 点 計 20 点

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語	
		COBOL	イベント駆動型 BASIC

選択言語を () で囲むこと

小計
55

合 計
100

(平成21年 9 月27日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第41回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審 查 基 準

【1】	1	2	3	4	5	
	ケ	イ	ウ	キ	力	各2点 計10点

【2】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	オ	コ	ク	エ	ア	

【 3 】	1	2	3	4	5
	イ	ア	ウ	イ	ウ

問 1			問 2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
エ	ア	ウ	3 回	1021	イ

小計
45

〔イベント駆動型BASIC〕

【 5 】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各 3 点 計15点
	ア	オ	ク	エ	ケ	

【 6 】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各 4 点 計 20 点
	力	コ	イ	ウ	キ	

【7】

(7) D a i s u

(4) H a j i m e = I r i

(7) O w a r i

(11) Y o b i = 7

(4) S a g a k u

(注) 大文字, 小文字および空白は問わない。

各 4 点 計 20 点

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語		小 計	合 計
		COBOL	イベント駆動型 BASIC	55	100

選択言語を () で囲むこと